

広島文学資料室サテライト展示 「大庭みな子—没後 10 年を読む」 展示資料リスト

『大庭みな子全集 第 1 巻』日本経済新聞社 平成 21 年
『大庭みな子全集 第 2 5 巻』日本経済新聞社 平成 21 年
『七里湖』大庭みな子／著 講談社 平成 19 年
『風紋』大庭みな子／著 新潮社 平成 19 年
『最後の桜 妻・大庭みな子との日々』大庭利雄／著 河出書房新社 平成 25 年
原稿「言わない愛」大庭みな子／著（「婦人公論」昭和 48 年 11 月号 「伝えない愛」として掲載）
色紙「わからないから書く」大庭みな子／書
【作品掲載】
『変人 埴谷雄高の肖像』（文春文庫）木村俊介／著 文芸春秋 平成 21 年（「子供と自然」大庭みな子／談）
『21 世紀版 少年少女古典文学館 4 枕草子』講談社 平成 21 年（大庭みな子による現代語訳）
『ドナルド・キーン著作集 第 1 巻』新潮社 平成 23 年（「古典の愉しみ」大庭みな子／翻訳）
『いつもそばに本が』ワイズ出版 平成 24 年
『精選女性随筆集 6 宇野千代・大庭みな子』小池真理子／編 文芸春秋 平成 24 年
『中学生までに読んでおきたい哲学 1 愛のうらおもて』あすなる書房 平成 24 年 （「とらわれない男と女の関係」大庭みな子／著）
『中学生までに読んでおきたい哲学 7 人間をみがく』あすなる書房 平成 24 年 （「遠い山をみる眼つき」大庭みな子／著）
『コレクション戦争と文学 14 女性たちの戦争』集英社 平成 24 年（「むかし女がいた」大庭みな子／著）
『素描 埴谷雄高を語る』（講談社文芸文庫）講談社 平成 27 年（「影法師が踊る」大庭みな子／著）
「群像」平成 20 年 3 月号 講談社（「痣」椎名（大庭）みな子／著）
「婦人公論」平成 21 年 6 月 7 日号 中央公論新社（「孤高の女性作家が夫と交わした 953 通の手紙」）
【評論】
『老いの愉楽 「老人文学」の魅力』尾形明子／編 東京堂出版 平成 20 年（「大庭みな子の笑い」江種満子／著）
『日本の現代作家 12 人の横顔』マンフレート・オステン／著 大杉洋／訳 鳥影社・ロゴス企画 平成 20 年 （「大庭みな子／桃の実のエロス」）
『奇縁まんだら 続』瀬戸内寂聴／著 横尾忠則／画 日本経済新聞出版社 平成 21 年
『移動する女性たちの文学』山出裕子／著 御茶の水書房 平成 22 年
『渡航する作家たち』神田由美子・高橋龍夫／編 翰林書房 平成 24 年
『私小説の技法 「私」語りの百年史』梅澤亜由美／著 勉誠出版 平成 24 年
『大庭みな子 記憶の文学』水田宗子／著 平凡社 平成 25 年
『水田宗子対談・鼎談・シンポジウム集 1 家父長制とジェンダー』水田宗子／編 城西大学出版会 平成 26 年 （「シンポジウム 母性を問うー〈母と娘〉という主題」大庭みな子／ほか談）
『水田宗子対談・鼎談・シンポジウム集 2 文芸批評 女性と表現 女性作家と語る』水田宗子／編 城西大学出版会 平成 26 年（対談「やわらかいフェミニズムへ」「書くことと語ることの〈狂〉」大庭みな子／談）
『後期 20 世紀女性文学論』与那覇恵子／著 晶文社 平成 26 年
『大庭みな子 響き合う言葉』与那覇恵子／編著 大庭みな子研究会／著 めるくまーる 平成 29 年